

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		明石市立きらきら		公表日 令和8年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の定員に応じたスペースを確保しています。 ・活動内容や人数に応じた活動場所を調整しています。 ・行事などで保護者の参加人数が多いことが予測される際には、場所の調整や人数の調整を事前に行なっています。 		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の様子や活動内容に合わせて、職員間で連携しながら対応をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、職員の都合で体制が一時的に脆弱になることがあったため、そのことを踏まえ、人員配置を考えることに努めます。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れをイラストカードを用いて分かりやすく提示しています。また、活動時間もタイムタイマーを使用し、目で見て、音で聞いてわかるようにしています。 ・各部屋にシンボルを設け、お子様自身が自分で理解し、行動できるように配慮しています。 ・お子様一人ずつマークを設け、お子様自身で自分のもの、場所が分かり、自分から行動できるような環境作りを行なっています。 		

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・療育後に玩具の消毒や保育室の清掃に取り組んでいます。また、建物全体で清掃員が配置されており、毎日掃除をし、清潔を保っています。	・提供している玩具が破損することがあり、定期的に点検を行うことを努めます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	・お子様が安心して過ごせるような環境作りに努めています。	・個別対応が行なえる部屋があることを職員全員に周知していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・日々の打ち合わせや振り返りなどから職員の意見を聞き取り、業務改善に取り組んでいます。 ・キャリアパス制度を導入し、年度初めに個々の目標を設定し、自分自身の振り返りができるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・年2回保護者に評価表を用いて評価をして頂いたり、保護者懇談会を実施し、保護者のご意見を聞く機会を設けています。それらのことを踏まえて、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・クラスミーティングなどで職員の意見を把握し、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		・毎月、担当課によるヒヤリングを行い、評価結果を業務改善に繋げています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・ホームページにて公表しています。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		・日々のお子様の様子からニーズや課題を把握しています。また、太田stageや遠城寺式乳幼児発達検査なども用いてアセスメントを行っています。お子様の様子に合わせて保護者アンケートや保護者の方からの聞き取りを行い、個別支援計画の作成にあたっています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・児童発達支援管理責任者と直接支援を行う職員で連携し、適切な目標や支援方法を設定しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	・日々の計画に合わせた支援や振り返りを行っています。	・より一層、職員間で支援計画の共有ができる場を設けていくことを努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・発達検査やお子様の観察、保護者の方からの聞き取りを行ない、確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、個別支援計画に「本人支援」「移行支援」「家族支援」「地域支援」の項目をも受け、支援目標を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・話合う場を月1回設け、児童発達支援管理責任者と直接支援している職員で翌月の活動プログラムのねらいや内容を決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・季節を感じられる活動や行事を取り入れています。 ・お子様の成長に合わせて、繰り返し取り組んでいる活動でも内容を展開したりと工夫をしています。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		・お子様のアセスメントから必要な個別活動と集団活動を盛り込んだ個別支援計画を作成し、支援を行なっています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・毎朝、職員間で支援の内容の確認をしています。また、登園されるお子様に合わせて、職員の役割分担の確認をしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・療育後に、その日の振り返りを行っており、お子様の様子の共有や次回の改善点について等話をしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・毎日お子様一人ずつ記録を作成しています。 ・必要に応じて、行動の記録などをつけ、支援の検証、改善に繋げています。	
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・個別支援計画作成後、6ヶ月以内にモニタリングを行い、見直しを行なっています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・直接支援を行っている職員からの聞き取りを行ない、児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議や関係機関の会議へ参加をしたり、連携を行なっています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・保健師やお子様が行われている幼稚園や保育園、こども園、別事業所と必要に応じて連携し、情報共有をし、お子様や保護者の方により良い支援を行えるようにしています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・幼稚園や保育園、こども園などに所属されている方は、個別支援計画を保護者の方が渡していることがあります。保護者の方から園での様子を聞き取り、日々の支援方法を検討しています。 ・就園するお子様に関しては、引継ぎに行っています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・サポートノートの作成、使い方についての情報提供を行っています。 ・個別支援計画や年間のまとめの書類を就学先に保護者の方が渡されることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、就学先と連携を取り、情報共有と相互理解を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域以外の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援センター（明石市立あおぞら園）が併設しており、日々連携をしながら、支援を行っています。 		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に親子療育であり、保護者の方に対して、お子さまの関わり方や理解を深めることを主に目的としているため、地域のお子様との交流の機会は設けていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、所属園と連携を図り、交流の機会を設けていきます。 	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・1部は療育中に保護者の方と一緒に過ごして頂く中で、お子様の様子や課題などを共有しています。 ・2部は、送迎時に保護者の方に自宅や所属園での様子の聞き取りをしたり、療育中の様子をお伝えしています。 ・連絡帳で日々のお子様の様子を伝えていきます。必要に応じて面談の機会を設けて、お子様への共通理解を図っています。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者学習会やパパの勉強会・交流会、サポートノート講座、あおぞらセミナーなどを開催しています。 	
保 護 者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・見学时、契約時に説明を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方がより理解しやすい説明をすることを努めています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の行動観察や保護者の方からの聞き取り、保護者アンケートなどからお子様・保護者の方の意向を把握しています。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の説明のための懇談の時間を設け、保護者に説明を行っています。同意が得られた際には、署名を頂き、同意を得ています。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の懇談以外も保護者の方の様子を見ながら面談の機会を設けています。また、日々の療育の中でも保護者の方とお話をする時間を設けていき、日々の支援を一緒に考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方がより相談しやすい雰囲気作りを行ったり、細かな変化などにも気付けるようにしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会やパパの勉強会・交流会、ひまわりっこクラブ(きょうだい児支援)を定期的に行なっています。 	

への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置や苦情受付先の周知をしています。 ・相談やご意見などがあつた際には、職員、管理者などで迅速に対応するように努めています。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・あおぞら通信、クラスだよりを定期的に発行し、行事や日々の様子を発信しています。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は、鍵付きのロッカーの中で保管しており、退勤時は、ロッカーを施錠しています。 ・お子様の写真の取扱い等の個人情報については、保護者の方にアンケートを取り、使用方法の確認を行なっています。 	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者に向けて、分かりやすい情報発信や意思疎通に努めています。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・行事の際には、地域の方にボランティアに来て頂いたり、漁港組合の方にご協力頂き、お子様が海の生き物に触れる機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域住民の方と交流をもてる機会を企画していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを作成しており、マニュアルに沿った研修を行っています。 ・各マニュアルは、職員がいつでも手に取れる場所に保管しています。 ・保護者の方には、契約時に避難訓練についてや緊急時の対応について説明を行なっています。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備え、定期的に訓練を行なっています。 ・訓練時に職員の役割分担を確認し、必要に応じて見直しや改善に努めています。 	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		・保護者の方から児童票や聞き取りを通して、お子様の状況を把握しています。また、聞き取りをした状況を職員間で共有をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・食物アレルギーのあるお子様は、医師の指示書を提出していただいております。職員間で情報を共有しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・安全計画を作成し、研修や訓練を行なっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		・連絡アプリを導入し、緊急時にすぐに保護者に連絡できるようにしています。緊急時の連絡方法や連絡先について、保護者の方に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・ヒヤリハットが起こった場合、何が原因であったか検証し、問題点や改善点などについて話をしています。また、翌日の朝礼で、周知し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・虐待防止委員会を設置しています。 ・職員に向け、1年に1回以上虐待防止研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		・職員に向け、1年に1回以上身体拘束についての研修を行っています。 ・支援計画の説明の際に、保護者の方に身体拘束に関する説明を行なっています。	